

(JP 日本語)

ミラノ協同憲章「エコミュージアムと文化的景観」署名と採択のお誘い

2016年12月

地域活性化・まちづくり・地域振興を目的としたヘリテージ・マネジメント（地域遺産の保存管理運営）について、地域に密着した活動を実践されあるいは関心を持たれているすべての方々に、私たちはミラノ協同憲章への参加をお誘いします。

2016年7月6～8日、イタリア、ミラノにおいて、想いのある文化的専門人たちが、コミュニティ参加型ミュージアムに関する考え方や経験を共有するために集まりました。この会合は、「エコミュージアムとコミュニティミュージアムのフォーラム」と名付けられ、第24回ICOM（国際博物館会議）大会（3年に一度の世界大会で、次回は2019年に日本で初めて京都において開催されます）におけるひとつの分科会として運営され開催されました。「ミュージアムと文化的景観」というICOMの全体テーマにもとづいて、参加者は、エコミュージアムとコミュニティミュージアムの今後の展開に関連する機会、課題、責任などについて討議しました。そのセッションのプログラムと要旨はhttp://www.ecomusei.eu/?page_id=987でご覧いただけます。

このフォーラム期間中の多くの研究発表の討議に加えて、エコミュージアムとコミュニティミュージアムの協同における対話が全世界に拡張されていくことを支援するため、国際的なネットワークがつくられることになりました。このネットワークは、世界の代表者からなる運営委員会によって方向付けられます。私たちは共同作業として、フォーラムの間に参加者から浮かび上がってきた考え方、問題点、対論を振り返り精査し、まとめました。このまとめ作業の課程から、共通する見解を、仮に「2016 ミラノ協同憲章 “2016 Milan Cooperation Charter” (<http://bit.ly/2l96ong>)」としてここにご紹介します。

私たちは、この憲章が、私たちの仲間とその関係者、協力者に広く共有され、それをもってこのミュージアムの見解を共有するすべての人々のための糾合点となることを希望します。

この憲章に署名する人々がさらに多くなるにつれて、ますますこのネットワークが、地域に根ざすミュージアム活動のアジェンダの発展に寄与するようになるでしょう。運営委員会では、2017年のうちに、この憲章の修正案を作成するつもりであり、さらに多く広がった専門人たちのグループで確立させられることを期待しています。

このような趣旨で私たちは、あなたに、本憲章への採択と署名をお誘いする次第です。以下のリンクで、登録フォームをご参照ください。http://www.ecomusei.eu/?page_id=1792

ふるってご参加のほど、よろしくお願ひします。

2016 ミラノ協同憲章 運営委員会

カレン・ブラウン（スコットランド）

エロイザ・ヘレナ・コスタ（ブラジル）

ラウル・ダル・サント（イタリア）

ユグ・ドヴァリー（フランス）

オスカル・ナバハス・コラール（スペイン）

大原一興（日本）

ダグラス・ワルツ（カナダ）

ご質問などがございましたら、（英語などで）info@ecomusei.euまでお願ひします。